

令和5年度 赤穂市学校評価 外部評価報告書

学校園名 赤穂市立 赤穂東中学校

総合的な学校関係者評価

1 本年度の学校経営方針

【学校教育目標】 「人を愛し、自らを律し、広い世界に挑む生徒の育成」
～『志』高く、自由と責任の気風あふれる学校をめざして～

【学校教育目標の具現化への基本方針】

- (1) 笑顔とあいさつ、軸の強さと思いやりの心が満ちあふれる生徒の育成に努める。
- (2) 仲間と繋がり、対話を通して考えを深め、自他のために働ける豊かな人間性を養う。
- (3) 「夢」と「志」を持ち、よりよい生き方を求めて挑戦する「勇気」と「決断力」を培う。
- (4) 地域の東中を自覚し、「誇り」を胸に郷土を愛する心を育てる、魅力ある学校づくりに励む。

2 本年度の学校重点目標

- (1) 自発的な思考を促す授業づくりを推進し、確かな学力を育てる。
- (2) 人権感覚・人権意識を基盤とした学校文化を創造する。
- (3) 【健やかな体】の育成。
- (4) 自ら「気づき・考え・行動する」主体的な生徒を育成する。
- (5) 特別支援教育の充実。
- (6) 地域に信頼される、魅力ある学校づくりを進める。

・「毎日、御苦労様です」の言葉しかありませんが、生徒指導以外に、多岐にわたる課題の数々をこなされている先生方に感動・驚愕しました。

・コロナが5類移行になりましたが、気を緩めずインフルエンザ同様引き続き感染予防を希望します。

・各項目の改善案については高く評価される。

・生徒一人一人の個性を尊重することと、集団で協力し力を合わせてがんばる事の大切さを指導し育ててください。

・最近の学校の様子を伺うと、特に大きな問題もなく学校全体が非常に落ち着いているように思います。

・これからも生徒が落ち着きのある学校生活を送れるように、引き続きご指導をお願いします。

・感想ですが、生徒からあいさつしてもらえるのはまだ少ないと感じるが、こちらから声を掛けるとほぼ全員から返事のあいさつがある。大人でも返事がなかったりするので、生徒の声はとても気分の良いものです。

・良い中学生生活をしているように見かけます。募金などで協力していただいで感謝してます。部活などもう少し活躍してもらいたい。地域での中学生の参加を模索していきますのでぜひ参加してください。

・「学校教育目標」、「基本方針」を掲げ生徒の育成に努める学校運営が随所に見受けられた。生徒の中学校生活における大切な成長において、先生方の根気ある、又暖かな「見守り」と「時として厳しく」育てあげて頂きたい。

学校関係者評価

3 自己評価結果 (A～D) A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

◎:適切である ○:ほぼ適切である △:あまり適切でない ×:適切でない

観 点 (重点目標)	評 価 項 目 (学校・教師の取組)		評価資料	達成 状況	改善の方策
	項目	指標			
1. 人間として当たり前のことができる集団を育て、人としての心を育てる。	項目	挨拶・服装をはじめ、基本的な生活習慣を確立させることができたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	○笑顔でさわやかな挨拶ができるよう、生徒会を中心に、さらに取り組んでいきたい。 ○服装、時間を守ることなどの基本的な生活習慣の確立にあたっては、全職員の共通理解のもと、家庭との連絡を密にしながら、学校生活のあらゆる場面で、個々の生徒に応じた指導や対応を行う。 ○日々の学校生活で行う日番、清掃、給食当番がみんなの笑顔のために行う活動であり、ボランティア活動もクラスの仲間の笑顔のために行うことであることを引き続き実践させたい。 ○生徒1人1人が、「自分のために指導してくれている」と感じられるような言葉がけができるよう教師の研修をさらに積み上げていきたい。
	指標	誰にでも気持ちのよい挨拶ができ、服装の乱れのない生活ができた。	生徒アンケート 教師自己評価		
	項目	清掃指導やボランティア活動への参加を促す等、生徒の奉仕の心を育てたか。	生徒アンケート 教師自己評価		
	指標	熱心に清掃に取り組んだ。また、生徒会や校内のボランティア活動に積極的に参加した。	生徒アンケート 教師自己評価		
2. 夢と希望を持ち、笑顔あふれる生徒を育てる。	項目	生徒の人権を大切にした教育を行い、生徒との信頼関係を築くことができたか。	生徒アンケート 教師自己評価	A	○生徒用タブレットの効果的な活用方法を模索している。便利に伴うリスクも把握した上での取組の必要がある。 ○家庭学習を定着させるために、毎日の課題や、週末の課題を出し、丁寧に点検指導することで意欲の向上を図りたい。さらに、家庭の協力を得て時間の使い方を考えさせていきたい。 ○基礎学力の定着や向上を図るため、朝の学習タイムの活用が効果的である。さらに、終わりの会後の学習時間の効果的な活用を進めたい。 ○デジタル教科書や生徒用タブレットを活用しながら個々の習熟度に応じた課題の与え方を工夫し、有効な少人数授業の研究を推進する。 ○支援を必要とする生徒に、多くの教師が関わられるよう個別の指導計画、支援計画を活用する。
	指標	先生は生徒のことをよく理解しており、頼りになる存在である。	生徒アンケート 教師自己評価		
	項目	学校行事・生徒会行事等への参加を促し、より自主的・実践的な態度の育成ができたか。	生徒アンケート 教師自己評価		
	指標	学校や地域の行事に積極的に参加し、交流を深めた。	生徒アンケート 教師自己評価		
	項目	わかる授業を創造し、生徒たちの自己実現を図り、学習意欲を高めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	授業はわかりやすく学習内容は理解できている。生徒はもっと勉強したいと意欲的である。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目	家庭との連携を図り、家庭学習の習慣が確立したか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	
	指標	自主的な家庭学習ができ、宿題等も期日を守って提出できる。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目	授業時数を十分確保できたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	じっくりと時間をかけた丁寧な指導で、授業がよく分かる。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目	少人数授業など個に応じた指導が十分にできたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	
	指標	自分の到達度に応じた指導を受け、学習内容がよく理解できた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目	特別な支援を要する生徒に対して適切な指導が行われたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	
	指標	教師は個別の支援計画を作成し、一人ひとりに応じた指導ができた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目	主体的・対話的・深い学びを目指した授業の創造ができたか。	教師自己評価	A	
	指標	生徒たちに学びはあったか。	教師自己評価		

自己評価 は適切か	改善方策 は適切か	課題と来年度具体的改善方法
○	◎	・昨年来の「挨拶」については、達成したと理解した。また、始めから気にはなっていたが、覇気と笑顔はなかった様に感じた。気恥かしいのではなく疲れているのが見て取れた。「継続は力なり」が重要だと思います ・中学時代を思いおこすと、先生との会話・冗談話が楽しく記憶に残っています。 ・常に生徒と先生の信頼関係を保った環境で生徒の育成に取り組んでいただきたい。 ・地域の人に自然に挨拶ができる生徒になってもらいたい。 ・生徒会及び学校の方針での「遵守事項」の「挨拶」「服装の乱れチェック」「清掃」等々は学校生活の大切な条件である。指導側・教師と生徒共々、根気ある活動に努めていただきたい。
◎	◎	・信頼関係を築くには、一対一が基本かなと思う。 ・コロナにより、リモートワーク・リモート授業等が、あたりまえになり便利になりました。 ・タブレット・スマホにより色々な問題点も出て来ていますが、先生と各家庭が連絡・協力しあって問題を少しずつ減らしてください。 ・教師アンケート(16)から、家庭との連携に対しては、A評価は過大と考える。 ・概ね生徒のアンケート結果と同様の方向性が見られ、評価は妥当と考える。 ・タブレットの有効な活用と、ルールに基づいた使用方法をきちんと指導して頂きたい。 ・タブレットの効果的な使用で学力アップにつなげてもらいたい。 ・学力向上については誰もが望むことと考えるので色々な工夫を続けてほしい。 ・年々教育学習法のタブレット及びデジタル教材の活用が常態化されて来ている。生徒の個々の習熟度が危惧される面があるが、これらの面も十分考慮された指導、教育を願いたい。

A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

観点 (重点目標)	評価項目 (学校・教師の取組)	評価資料	達成 状況	改善の方策
3. 楽しく 安心でき 充実した 生活を送 れる学校 づくりを 進める。	項目 指標 教育相談週間(面談)や生活ノートの活用により生徒 理解を深めたか。 先生は生徒のことをよく理解し、困ったときに相談 できた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	○いじめを生まない学級経営を全教師が実践す る。生徒理解を深め、いじめにつながる事案の 早期発見、早期対応をチームとして行う。 ○普段の生徒の言動に関して、教師が高い人権感 覚をもって向き合う事が大切である。教師自身 の人権意識を更に高めていきたい。 ○不登校生徒へのアプローチは、担任だけでなく スクールカウンセラーやスクールソーシャルワ ーカーと連携しながら進める。保護者へのカウ ンセリングを継続して実施していきたい。ケー ス会議等を持ち、情報を共有し取り組み方を検 証しながら進めていきたい。
	項目 指標 楽しく安心できる学校づくりに努めたか。 学校に愛着を持ち、毎日登校することが楽しい。	生徒アンケート 保護者アンケート		
	項目 指標 学級経営等の工夫により、生徒は充実した学校(学 級)生活を送っているか。 学級活動等で活躍することができ、学校での生活が 充実している。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 部活を通して生徒との良好な人間関係を築いたか。 先生の指導は熱心で、生徒は部活動に積極的に参加 し、楽しく活動している。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 不登校生徒への指導や支援は十分であったか。 不登校生徒が、自分のペースで学びを続けることが できた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
4. 東中を 学びの場 としてふ さわしい 環境にす る。	項目 指標 教室や廊下には生徒の作品やポスター類がきれいに 掲示されるなど、環境が整備されているか。 教室や廊下には掲示物が整然と貼られ、環境が整っ ている。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○各行事が効果ある取組として実践・継続でき るよう事後検証を的確に行いたい。 ○整った環境が学びを向上させるとの共通理解の もと、環境整備を実践した。 ○人権意識の向上のため、生徒の心に響く授業を 行う必要がある。今後も継続的に意識調査を実 施し、生徒の実態に合わせた指導を心がける。
	項目 指標 掃除がすみずみまで行き届くなど、校舎内外の環境 美化に努めているか。 校舎内外ともに隅々まで清掃が行き届いている。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 教職員の言葉遣いは人権に配慮された適切なものにな っているか。 生徒や保護者に対して人権に配慮した適切な言葉遣 いができている。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 生徒会活動は活発で、自治的・主体的・自律的な活 動が行われているか。 生徒会の委員会活動等は活発で、生徒は自主的に活 動できる。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
5. 地域に 信頼され る学校づ くりを進 める。	項目 指標 学校だよりやHPなどで学校の情報を家庭や地域に 発信したか。 保護者や地域住民は、学校の状況をよく理解している。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○生徒の様子や保護者の声が地域の方に届けられ るように学校だよりやホームページを更新し、 学校からの情報を発信する。 ○学校が地域の声を聞く場面を模索し、地域との つながりを保てるよう努力する。 ○生徒、保護者、地域に信頼される教職員になる ために一層の職務への専念、服務規律の確立に 努める。 ○自治会、青少年育成推進委員、防犯委員、民生 児童委員など、青少年の育成に関与しておられ る方々の協力が引き続き得られるような教育活 動を展開する。 ○日々の校内巡視や、安全点検、交通立番指導等 の徹底を図る。 ○学校運営協議会で学校行事等について協議して いただき、外部の方から支援していただけるよ う取り組む。 ○校舎内外の環境整備や学習指導(教師の補助的 作業)等にも地域の方のご協力が得られるよ うな方策を検討する。
	項目 指標 オープンスクール等を推進し、保護者や地域の人た ちの生徒理解・学校理解を進めたか。 保護者や地域住民は学校行事等に積極的に参加し、 また、教育活動に協力的である。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 地域行事への参加・協力を通して、学校と地域の連 携を図ったか。 地域行事に積極的に参加する。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 PTA活動への協力など、PTAと効果的な連携を 図ったか。 PTAの協力を得て、教育活動が活性化した。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 学校評価を適切に行い、次年度への学校教育の指針 を作成したか。 アンケート等で保護者や地域住民の声をくみ取り、 次年度の学校経営方針等を策定した。(教師)	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 育成推進委員会などと連携を図り、生徒たちの健全 育成を推進したか。 地域諸団体の協力を得て、健全育成を推進した。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標 安全で安心な学校づくりに取り組んだか。 定期的な安全点検、校内の巡回等、生徒の安全確保 に取り組んだ。(教師)	保護者アンケート 教師自己評価		

自己評価 は適切か	改善方策 は適切か	課題と来年度具体的改善方法
○	○	・子供達の多感な世代の、背伸びした中途半端な大人感覚を 味わいたい気持ちはわかる。それを抑制すればするほど反発 する年代。説得でもカウンセリングでもなく、ヒザを交えて 信頼関係を築くしかありません。 ・いじめ問題は永遠のテーマですね。早期に発見し、早期に 対応し、数多く対処してください。 ・我々も登下校時の見守り活動で努力したい。 ・評価、改善策は妥当。生徒アンケート結果からも、教師、 生徒間の良好な関係性が見える。 ・思春期の生徒の感情、人間関係は複雑ですが、それに寄り 添って、教師と生徒が信頼し合える関係を築いてください。 ・ふざけるからいじめが発生するので、なにげない会話に耳 をかたむけてもらいたい。 ・不登校生徒は難しい事と思います、保護者の心にとどくカ ウンセリングなどの実施を継続してもらいたい。 ・「いじめを生まない」対応の基本は教師の生徒に対する人権 尊重と「思いやり」と共に学級間等のチームワーク造りが大切 と思う。又、いじめにつながる「早期発見」「行為」等を注意深 く、根気良く見守って頂きたい。
◎	◎	・画一化すれば個性が失われます。 ・苦手意識を払拭できる取り組みが出来るか否かですね。 初めの一歩が大切だとはわかっている。 ・評価、改善策は、妥当。 ・環境が如何に自分たちの成長に大切なものであるかを指 導し、生徒が自主的に良い環境を作り出せる様に指導して あげてください。 ・学校の内外を問わず、今後も環境美化に努めて頂きたい。 その一環として、今後も海岸清掃等を行い、美化意識の向 上を図ってもらいたい。 ・掲示や清掃が行き届いていると思われる。継続してもら いたい。 ・「整った環境作り」と「整備」は根気のいる徹底事項だと思う。 あらゆる生活の場での根幹で大切な事。又「教師の言葉」は生 徒の心に残るもの。一言一句相手にとって、良い方向で響い て残るものであって欲しい。
○	◎	・学校だより 部活動の記録いつも楽しみにしております。 私たちの時代は、中央廊下に歴代の校内記録が貼り出され ておりましたので、記録を割り自分の名前を貼り出しても らう為に日々鍛錬しておりました。 ・コロナ問題で、参加できていなかったまちづくり三世代 交流事業等に参加してもらえようすすめていきたい。 ・評価、改善方策は概ね妥当。 ・保育所、幼稚園、小学校、中学校が1ヶ所に集まってい る環境を生かして交流など行えばいいかと思えます。 ・小学校に比べ、中学生が参加出来る地域行事が少ないよ うに感じる。これは、地域の側にも問題があるかも知れま せんが、学校側からも何らかの働きかけを行い、もっと地 域と学校が密接に関われる活動を生み出してもらいたい。 ・地域の行事に中学生が参加できる機会を増やせる様に、 こちらサイドで努力してまいります。 ・オープンスクールの実施により、地域の方々に学校の様 子を見てもらい、地域との連携を地域の側からも考えても らうようにならないか。 ・地域とのつながり、連携を保つ上での自治会等への各月配 信「学校だより」「HP」の配信は、とても効果大である。 今後共、自治会他、学校運営協力機関の連携を確保しなから 出来る限り協力支援等をも充実していきたい。

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

観点 (重点目標)	評価項目 (学校・教師の取組)	評価資料	達成 状況	改善の方策
6. 人間的なふれあいに基づく生徒指導を進める。	項目 全教育活動を通して、いじめ・暴力のない人間(生徒)関係づくり、学校づくりに努めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○学級経営、生徒指導について教師自身が力量を高めようとする姿勢が求められる。生徒が生き生きと活動するためにどのように学級づくりを進めるのかチームとして取り組みたい。 ○道徳の指導力を向上させ、教師自身が人間性を磨く姿勢を持ち続けていきたい。 ○家庭環境等の影響で基本的な生活習慣が身につけにくい生徒もいる。保護者がどのように関わればいいのかも含めた、地域の関係団体や関係機関との協力を進める。 ○生徒と教師、生徒同士の適切な関係づくりや、家庭と教師との連携に向け、教職員の資質向上研修を推進する。
	指標 学級(学校)は、安心して勉強や生活ができる場である。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 道徳教育をはじめ全教育活動を通して、他者への思いやりやマナー、命の大切さを学ばせたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標 命の大切さが分かり、人の気持ちを大切にしてくる事ができた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 問題行動が発生した時には組織的に対応し、早期の解決を図るとともに、未然防止に努めた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標 教職員は問題行動に対して適切な指導をし、問題行動が減少した。			

自己評価 は適切か	改善方策 は適切か	課題と来年度具体的改善方法
○	◎	・能登半島地震の発生で、中学生としてどの様にとらえ、行動をするのかを話し合ってもらいたい。 ・生徒一人一人の個性と集団で力を合わせる事の大切さを指導してあげてください。 ・御崎地区の立地の利便性を生かして、4校園所のふれあい交流を数多く実施してほしい。 ・ある事で保母、保育士さんが子供達とどの様な接し方をしているか観ていたことがありました。怒る時、ほめる時、いかなる時もヒザをつけて子供と同じ目線でした。中学校の先生方にこんな事は求めませんが。 ・学校経営「学級づくり」で大切な事は教師と生徒間の信頼関係がどうかで決まる。お互いに又、特に教師側が人間力を高め生徒に対しても、個々の人格を尊重した上で接し、共に資質を導めていって頂きたい。

自己評価における特記事項

○様々な指導場面において、学校としてどのように対応するか、共通理解して進めることの重要性を改めて感じた。
○5類移行後の行事をどのように復活させていくか、検証しながら次年度につなげたい。

項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

○授業研究、校内研修等充実し、授業を通じた教師の資質向上を更に効果的に進めたい。
○不登校対策を見直し、個に応じた学習機会の提供の方法を検討したい。
○若い教師も多くなり、「人権とはなにか」を含め、人権について研修し、生徒と共に人権感覚が高揚するよう取組を実践したい。